

# 令和元年度 事業報告書

特定非営利活動法人  
ディープデモクラシー・センター

## I. 令和元年度の重点方針

当法人の5年目の年度となる令和元年度は、まさに本当の意味でのスタートの年ととらえて、下記の重点方針のもと活動を進めてまいりました。

### 1. 特定非営利活動法人として運営基盤の強化

特定非営利活動法人としての運営基盤の強化を最優先とし、円滑な運営体制の実現を目指し、理事体制＝事務局体制のさらなる安定化を進めるべく、ICT等を活用した緊密な連絡網、情報提供網の構築をすすめました。

### 2. 支援の現場づくりのさらなる推進、支援者の育成

生活困窮者支援、路上生活者支援、障がい者の場づくりなど、前年度に展開してきた支援の現場をさらに安定的なものとし、さらに、そこに関わる人材の育成にも注力しました。

### 3. 福祉サービスの実施

視覚障害者（児）の外出支援（＝同行援護）、松戸市・介護予防・日常生活総合支援事業（元気応援サービス）を実施しました。また、地域共生社会の実現に向け、「まちの縁側・陣屋前に」「コミュスポときわだいら」のふたつの「通いの場」を展開しました。

### 4. 県南における活動の本格化～台風15号被災を受け「千葉南部災害支援センター」へ

県南部におけるあらたな拠点「里山オフィス」を活用し、県南地域における活動を開始しました。とくに、9月の台風15号の発災以後は、長期化する支援を地域で担っていくための民間のプラットフォームとして、「千葉南部災害支援センター」を設立しました。（運営団体＝特定非営利活動法人ディーブデモクラシー・センター、認定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、一般社団法人ピースボート災害支援センター、特定非営利活動法人ADRA Japan）

## II. 令和元年度の事業活動（平成31年1月1日～令和元年12月31日）

### 1. セミナー、講座等の開催

#### ○令和元年度松戸市男女共同参画市民企画支援事業（助成）

「多様な性のあり方を制度に ～性の多様性を前提にした地域づくり」

講師・伊藤悟さん・三宅大二郎さん（すこたんソーシャルサービス）

令和元年9月21日

松戸市女性センターゆうまつど（松戸市）

#### ○千葉県ボランティア参加促進事業（受託）

「チーボラ大作戦」連続講演会「希望をつくりだすのは、あなた」

「希望を見いだすためのソーシャルアクション ～生活困窮者支援の現場から」  
講師・藤田孝典さん（NPO法人ほっとプラス代表理事）  
令和元年11月3日  
千葉市生涯学習センター・大研修室（千葉市）

「幸福は日々の中に ～鹿児島しょうぶ学園の取り組みから」  
講師・福森伸さん（知的障害者施設しょうぶ学園統括施設長）  
令和元年11月16日  
千葉市生涯学習センター・大研修室（千葉市）

「介護民俗学という希望 ～すまいるホームの実践から」  
講師・六車由実さん  
（デイサービスすまいるホーム管理者・生活相談員、介護民俗学実践者）  
令和元年11月17日  
千葉市文化センター・会議室（千葉市）

○千葉県ユニバーサル人権事業（受託）

「多様な性のあり方を知り、生きづらいこの社会をみんなで変えていこう」  
遠藤まめたさん お話とワークショップ  
12月14日（土）19時～ 千葉市文化センター・セミナー室（千葉市）

### III. 令和元年度の運営

#### 1. 理事会

##### 第1回通常理事会

開催日時 令和元年3月27日 ミーティングプレイス松戸

### IV. 会員の状況

|      |     |
|------|-----|
| 正会員  | 14名 |
| 一般会員 | 48名 |
| 賛助会員 | 0名  |